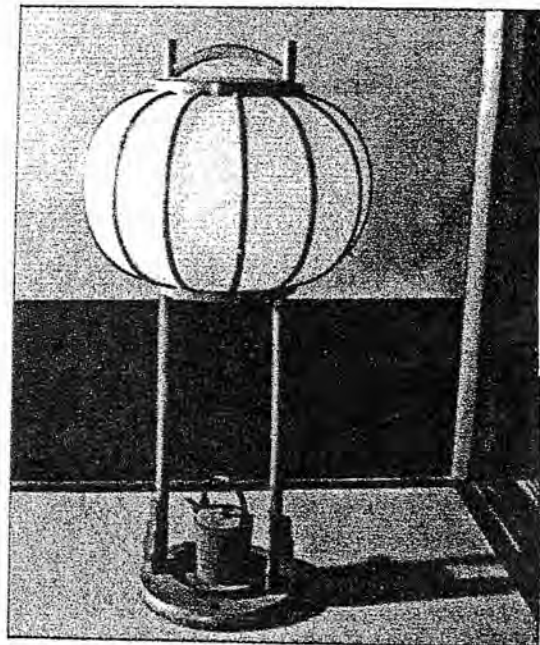


灯りと道具



「黄昏」「たそがれ」という言葉は美しい言葉である。「だれぞかれ」が、語源だそうだ。黄昏を過ぎた時分に、村の中を「うろろうろ」と歩き回るものは、「怪しい者」であった。従って、大きな名前を書き込んだ、堤燈を持って歩くのが、在所中の「取り決め」でもあった。何処の家でも「大きく名前、屋号」を書いた、堤燈があったもんだ。火事見舞いにも、名前入りの堤燈は、名刺代わりに、なつた。

